

アクセス情報 Access Information



自動車利用の場合

- 東京方面から、中央自動車道、一宮御坂インターを出て、国道20号線（甲府バイパス）を甲府市街方面に向かい、「向町二」三叉路を右折し「横根跨線橋南」交差点を左折する。
- 長野・名古屋方面からは中央自動車道、甲府昭和インターを出て、国道20号線（甲府バイパス）を大月方面に向かい「向町二」三叉路を左折し「横根跨線橋南」交差点を左折する。

電車利用の場合

JR中央本線酒折駅 下車徒歩3分。JR身延線善光寺駅 下車徒歩12分。

新宿駅から、JR中央本線 特急「かいじ」「あずさ」で甲府駅まで約90分。
長野駅から、特急「しなの」で松本駅まで約50分。
さらに、松本駅からJR中央本線特急「あずさ」で甲府駅まで約60分。
静岡駅から、JR身延線 特急「ふじかわ」で甲府駅まで約130分。
甲府駅から乗り換え1駅で酒折駅へ。

高速バス利用の場合

新宿駅南口高速バスターミナル「バスタ新宿」から石和温泉を経由甲府駅行バスに乗り、「山梨学院大学」バス停で下車



〒400-8575 山梨県甲府市酒折2-4-5

山梨学院大学 国際リベラルアーツ学部

Phone 055-224-1350

E-mail icla.contact@ygu.ac.jp

<https://www.icla.ygu.ac.jp/jp>



iCLA 公式 SNS アカウントはこちら

- ▶ iCLA (International College of Liberal Arts)
- 📷 [icla.ygu](https://www.instagram.com/icla.ygu)
- 📺 [icla_ygu](https://www.youtube.com/channel/UCjclajp)
- 📘 [iclajapan](https://www.facebook.com/iclajapan)

※このパンフレットは2021年3月の情報を基に作成しております。



iCLA へ留学、という新たな選択

YAMANASHI GAKUIN UNIVERSITY
International College of Liberal Arts

山梨学院大学 国際リベラルアーツ学部

学部案内



iCLA
International College of Liberal Arts



英語力を 徹底的に伸ばす EAE

英語による高度なコミュニケーション能力を習得する集中プログラム。読む、書く、聞く、話すの4技能をバランスよく伸ばし、英語で大学の授業を受ける実力を身に付けます。多国籍の教員による週750分の授業に加え、LAC（言語学習センター）では自律学習を支援する個別指導を日本人のアドバイザーが担当します。



国際色豊かな キャンパスと寮生活

iCLAのキャンパスと国際寮では、留学生と共同生活を送ることで英語が日常会話となるだけでなく、他国の文化を理解し、自国の文化を説明する力が身に付きます。授業だけではなく、寝食も多国籍の人々と共にするiCLAでの学生生活は、国内にしながら留学しているような体験です。



今、国際社会が求めているのは、 どのような人材でしょう？

流暢な英語が話せて、日本語と英語の
及びプレゼンテーション能力があること。
(CCIG)[※]な思考力が備わっていること。
異文化や外国語に対する
考えられます。iCLAのリベラルアーツ
求められる人材になるための、教養と

双方における高度なコミュニケーション
批判的・創造的・自立的・グローバル
経済や社会の基本的な仕組みを理解して
親しみと理解を持っていること、などが
教育プログラムでは、これからの世界から
センスが身に付きます。

※CCIG＝批判的(Critical)・創造的 (Creative)・自立的(Independent)・
グローバル(Global)



1年間の海外留学

iCLAでは、海外63校以上の大学と提携を結び、学費の負担をかけずに勉学に励むことが可能な、交換留学制度を取り入れています。また、日本人学生は2年次以降に海外留学をすることが必須となっています。実践的な英語力を身に付け、英語を仕事でも生活でも活かせる人間を育成することができるiCLAのカリキュラム。



英語で学ぶ リベラルアーツ科目

一つの専門分野の殻に閉じこもらず、人文教養、社会科学、数理的推理、自然科学に加え、芸術や武道も英語で学べる分野横断型カリキュラムがiCLAの特徴です。世界各地から集まった多彩な教員が、1クラス最大20名程度の少人数で、座学だけではなくディスカッションやディベートを取り入れた学生参加型の講義を展開します。



リベラルアーツとは？

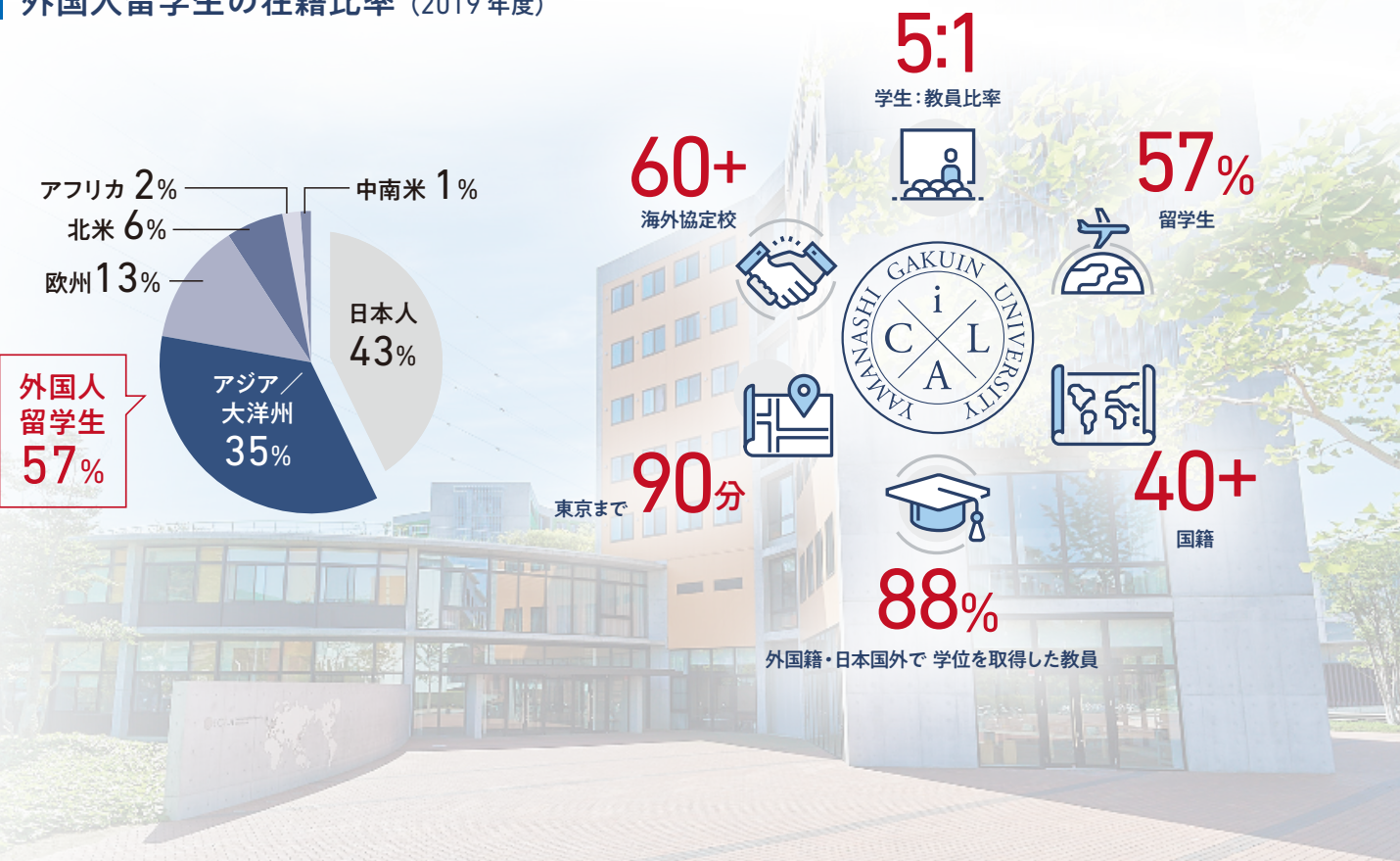
古代ギリシアに起源を持つリベラルアーツ教育は当初、自由人として生きるために必要な知識や実践力を身に付け、教養を高めるためのものでした。その教育手法は古代ローマから、イギリス、そしてアメリカに継承され、現在では、複数の分野を幅広く横断的に学ぶことで、多様な人と働くために必要となる基礎的な力を養う教育方法として日本でも注目を集めています。リベラルアーツ型教育の真髄は、専門分野に焦点を絞るのではなく、幅広い分野を学ぶことにあります。リベラルアーツ教育の特徴は、少人数制の授業と各国から集まった高いレベルの外国人教員（専任教員の約60％が外国人教員）にあります。

カリキュラム

iCLAのカリキュラムの特徴は、広い学問分野から学んだ知識を結合させることができるように設計されていることです。学生が多岐にわたりにながら相互に関連する科目を多角的に学び、幅広い領域の知識を結びつけられる分野横断型カリキュラムによって構成されています。



iCLA 学生の国籍および日本人と外国人留学生の在籍比率（2019年度）

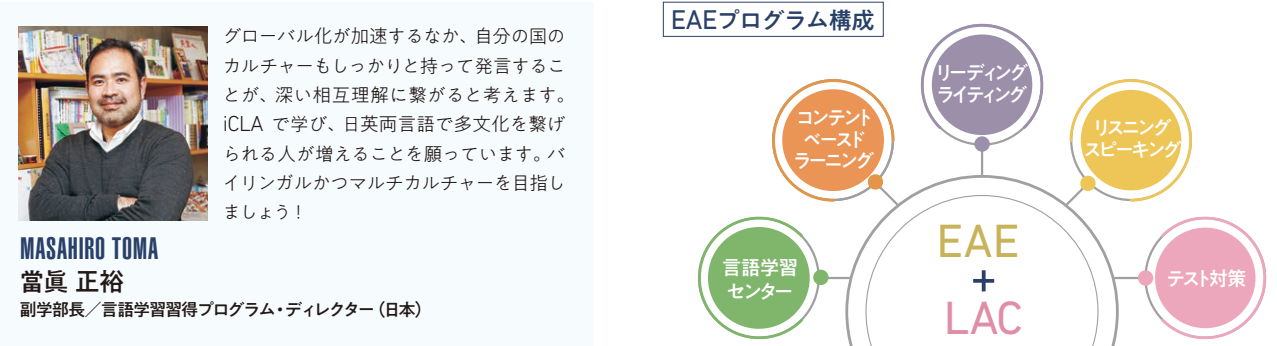


ここで確実に英語力を伸ばす！

iCLAの目標の一つである英語による高度なコミュニケーション能力を習得し、自律学習能力を身に付けるための基礎となるのがEAEです。

EAE*（アカデミック英語）プログラム ※EAE（English for Academic Excellence）

iCLAに入学後すぐに始まるのが「EAE」と呼ばれている「アカデミック英語」プログラムです。共通のテキストブックを使いながら、習熟度別のクラスに分かれて授業が行われます。担当教員は、外国籍のネイティブスピーカーから日本人の先生まで多彩な顔触れです。英語で行われる「リベラルアーツ」プログラムを目指して、まずは「読む」「聞く」「書く」「話す」という4つの技能をバランスよく伸ばし、TOEFLやIELTSの得点も上がるように設計されたプログラムです。2019年度から、日本語で行われる「リベラルアーツ入門」が開講され、EAEで使用するテキストに出てくるトピックを題材にして、リベラルアーツ教育で求められる思考力を磨くトレーニングを開始しています。



MASAHIRO TOMA
當眞 正裕
副学部長／言語学習習得プログラム・ディレクター（日本）

KANUPRIYA DUA
カヌプリヤ・デュア
英語教育／講師（インド）

SUMIE KAWAKAMI
川上 澄江
英語教育／講師（日本）

DAVID KNUDSEN
デイビッド・ナドゥセン
英語教育／講師（オーストラリア）

DAVID O'DONNELL
デイビッド・オドネル
英語教育／准教授（アメリカ）

PETER CHANG
ピーター・チャン
英語教育／准教授（アメリカ）

LAC*（言語学習センター） ※LAC（Language Acquisition Center）

言語学習センター（LAC）は、EAEのコースとともに学生が英語力を伸ばし、自ら方向性を定められる自律した学習者になるための施設です。またLAC専属の言語学習アドバイザーは、特にEAEの学生の為に、一人ひとりのニーズを把握し、学習者の学習計画立案を支援するとともに、学習方法と戦略についてアドバイスとフィードバックをしていきます。つまり学習者が計画、実行、振り返りの一連の流れから、自身の学習に責任を負い、さらなる自律学習を達成できるようになる、学ぶ方法及び学ぶお手伝いをしています。そしてEAEの授業以外の時間では、LACは学生が宿題や自律学習ができるように、落ち着ける環境と学習教材などを提供しています。

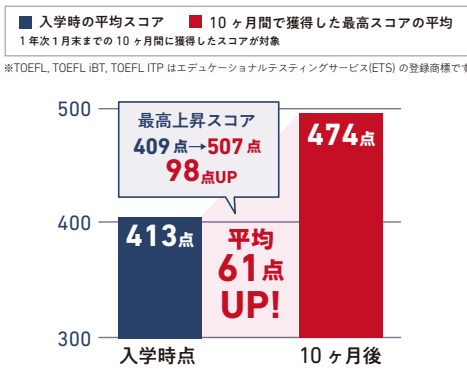
Student Interview

YUNA SAITO
齊藤 優菜
出身：長野

小6から英語の塾に通っており、以来ずっと英語に興味を持っていましたが、日本の学校教育では十分に英語を勉強する機会が少なく、英語がそれ以外を学ぶか、という選択肢で迷っていました。iCLAのオープンキャンパスとキャンプの両方に参加して、iCLAに入学すれば英語に加えて他の分野も学べると考え決めました。私はスピーキングの力が極端に低かったのですが、iCLA入学後、EAEでディスカッションの授業を受けていくうちに、スピーキング力も伸びてきたのを実感しています。LACでは自分が苦手な分野が何かを気づくことができ、その部分を集中的に勉強でき、良い環境だと思っています。分からないことは、アドバイザーの先生にすぐに聞きに行けるのも助かります。まだ完全に英語を習得していないEAE生にとっては、日本語でのアドバイスも受けられるのも心強いです。

TOEFL ITP 平均スコア推移

入学後、約半年で大幅なスコアアップ！
1年次より集中的に英語力を強化します。



4つのメジャー リベラルアーツプログラムは「グローバルビジネス・経済学」「政治学」「人文教養」「日本研究」の4つのメジャーで構成されています。

グローバルビジネス & 経済学 Global Business & Economics

経済学とビジネス分野の授業科目を学ぶことができます。
グローバルビジネス・経済学は、社会科学的方法をとる経済学と、応用的なアプローチをとるビジネス学を融合的に学ぶ学問です。経済学はより理論的ですが、ビジネスの現実と関連付けながら学びます。一方、ビジネス学はより実践的ですが、理論的な概念を使いながらビジネスや金融の現場で実際に起こりうる課題に取り組みます。
iCLAではビジネスや経済学をドル、ユーロ、円といったものさしで教えるのではなく、社会的、人間的な側面から教えます。
さらに、どの科目もグローバルな視点から学ぶため、将来どんなキャリアを選ぶかに関わらず、現代のグローバル社会で活躍するために必要な知識と経験が身に付きます。



MICHAEL LACKTORIN
マイケル・ラクトリン
経済学／教授（アメリカ）



JOSEPH LIAN
ジョセフ・リアン
経済学／教授（香港）



HITOSHI SUGA
須賀 等
副学部長
経済学／教授（日本）



JIMMY TENG
ジミー・テン
経済学／准教授（シンガポール）

政治学 Political Science

現在の世界が直面している課題を分析して解決策を考える力を身に付けるために、多彩な授業科目が開講されています。「行政学入門」や「社会政策」のように国内で生じる問題を対象とした授業から、グローバルな視点からアジアや日本の立ち位置を考え直すための授業科目も用意されています。
iCLAでは、経済成長と安定を目指す政府の政策、貧富の差、NGOが社会的・政治的变化に与える影響、国家間の関係、民主主義制度の危機、世界平和など全てが研究課題になりえます。学生は、これらの問題に多角的に取り組みながら、常に変化する世界の政治情勢を批判的に思考し、分析的に論じることを学びます。
このようなiCLAの政治学の授業は、将来、国際関係や外交、行政、非政府組織、コミュニティ形成、学術研究、ビジネスなどの分野に進学あるいは就職し、世界で活躍できる人材を育成します。



KOJI HARAGUCHI
原口 幸司
政治学／講師（日本）



ROSARIO LARATTA
ロザリオ・ラッタ
政治学／教授（イタリア）

【コースリスト】（一部抜粋）

グローバルビジネス・経済学 ■ミクロ経済学 ■日本経済とビジネス ■国際貿易とグローバル経済 ■起業・ベンチャー論	人文教養 ■文学鑑賞 ■美術鑑賞 ■日本映画・演劇 ■マンガ・アニメーション学	政治学 ■国際関係論 ■行政学入門 ■社会・政治理論 ■日本の政治と外交	日本研究 ■日本の国際関係史 ■日本語初級・中級・上級 ■社会人としての日本語作文 ■日本語能力試験 N1・N2
--	--	---	---

※上記の授業科目は2020年度の開講科目です。2021年度以降については変更の可能性があります。

詳しくはこちらのQRをアクセス！

iCLAホームページ
<https://www.icla.ygu.ac.jp/jp>

人文教養 Interdisciplinary Arts

文学・芸術・芸能など幅広い授業科目が展開されており、自分自身の興味に応じて学際的な学修が可能となるように設計されています。各分野の横断的な授業履修が可能だけでなく、英語で日本文化について学ぶことができる授業科目も多数開講されています。人文教養（インターディシプリナリー・アート）は、視覚芸術、パフォーマンス、文学・言語学、音響芸術、音楽など、クリエイティブな実践科目を幅広く扱います。学生は理論、実践、歴史的観点からこれらの科目を探究することにより、幅広く教養を学びながら自分の選んだ専門分野の理解を深めます。また授業だけではなく、パフォーマンスや作品展示を通して日頃の学習の成果を発表できる“Gala”などのイベントも毎学期開催しています。このようなiCLAの幅広い科目や学習成果発表の機会は、今どの業種においても求められているクリエイティブな人材を育成します。



MICHAEL BLOW
マイケル・ブロウ
音楽／教授（イギリス）



VAHID RAFIEYAN
ヴァヒド・ラフィエヤン
言語学／准教授（イラン）



SAM STOCKER
サム・ストッカー
美術／講師（イギリス）



KAZUTAKA SUGIYAMA
杉山 和孝
文学／講師（日本）

日本研究 Japan Studies

iCLAで留学生と一緒に「日本」について学ぶことができます。他の3つのメジャーでは、「日本」をテーマとした授業科目が多数開講されており、毎学期、交換留学生たちがこれらの授業に参加しています。こうした留学生と一緒に、日本の政治・経済・歴史・文化を学ぶことができます。iCLAの日本研究では、日本の文化・歴史・経済・政治など幅広い分野の科目をその道の専門家から学び、日本に対する理解をさらに深めることができます。例えば、柔道、空手、合気道、ナンバ式骨術、修験道などの武術、漫画、アニメ、日本映画などの文化、さらにはトランジスタラジオ、ロボット、コンピューターゲームなどを取り上げる日本技術史も学ぶことができます。また、富士山、東京、横浜へのアクセスがよく日本の中央に位置する甲府で、学生生活を送り日本研究を体験的に学べることも、iCLAの魅力のひとつです。iCLAで日本研究を学ぶことで、新しい視野、見識、経験を得て、日本をより深く理解できるようになるだけではなく、今までと違った視点から日本や世界を見ることができるようになります。



JUERGEN MELZER
ユルゲン・メルツァー
歴史学／教授（ドイツ）



DARREN ASHMORE
ダレン・アシュモア
比較芸術／教授（イギリス）



WILLIAM REED
ウィリアム・リード
日本文化／教授（アメリカ）



MARIKO OKABE
岡部 真理子
日本語教育／准教授（日本）



JUN IMAKI
今城 淳
日本語教育／講師（日本）



MIDORI INAGAKI
稲垣 みどり
日本語教育／講師（日本）

選択科目 … 4つのメジャーに加えて、以下の分野の科目も学ぶことができます。

・社会学（グローバル化の社会学、比較文化研究、社会学演習など）	・数推（リベラルアーツのための数学、大学代数学、統計学など）
・心理学（心理学入門、社会心理学、人格心理学、応用心理学と実践領域など）	・保健体育（ナンバ式骨体操、合気道、柔道、空手、修験道など）
・自然科学（地球科学、プログラミング入門、ゲーム開発入門など）	・データサイエンス（2021年度新規開講科目）

学生は自分の専門分野以外の科目も柔軟に選択でき、リベラルアーツ教育の本質である幅広い教養を身に付けることができます。

国際色豊かな キャンパスと 国際寮生活



国際色豊かなキャンパス

世界各国から来た留学生と日本人学生が共に勉強し、生活している国際色豊かなキャンパス。各国の学生たちが「共に学び」、「共に生活し」、「共に成長できる場」というコンセプトのもとにこのキャンパスデザインされました。

アカデミック英語プログラムで、英語力を伸ばすだけでなく、多国籍の教員から様々な英語のバリエーションを学びます。リベラルアーツプログラムでは、多国籍の教員、そして留学生と共に、互いの文化や価値観について理解を深める。授業環境そのものが、多様性を実感しながら学ぶことができる場となっています。

クリティカルに、そしてクリエイティブに考える力、グローバルな視点や判断力を身に付けるうえで、国際色豊かなiCLAは非常に適した環境なのです。

国際寮

そしてもう一つ、生活の場である「国際寮」も学びの場です。世界各国から来た留学生と日本人学生が居住している国際色豊かな国際寮。グローバルな交友関係を築くことができるだけでなく、生活を共にし、様々な文化や価値観に触れることができます。

時には文化や価値観の違いから、意見の不一致が生まれることもあります。そんな時は「学生にとって住みやすく、勉強に励むことができる環境作り」という共通の目標に向かい、対話を通じて解決策を見出すことが求められますが、各フロアにいる学生リーダーが、こうした対話を促してくれます。

多様性を学び、コミュニケーションを通じて課題を解決する力を身に付けることができる環境。国際寮での経験がその実践の場となり、海外留学へ行くための礎となるのです。

まるで留学しているようなキャンパスライフ

iCLAの学生たちは、授業中には多国籍の教員や留学生との多彩な出会いがあります。放課後には、クラスで知り合った仲間と積極的にスポーツや音楽、そして芸術などの趣味を楽しんでいます。

iCLA学生の1日



一般的な iCLA 1 年生の 1 日を追ってみました。

SHOTARO SASO
佐生 昇太郎 出身：東京



元々英語は嫌いだったけど母の勧めで12月にiCLAを見に来てすぐに決めました。iCLAは最高だけど努力が必要です。将来は国連で働いて世界中の問題を解決したいです。

Time	Schedule
8:00	起床
8:30~	ブレイクファースト
10:00~	ラフィヤン先生の部屋でプロフェッサー&アドバイジングの個別授業
10:30~11:45	EAE 1年生なのでEAEが授業の中心。リスニングには自信がある方だったが、込み入った難しい内容にはまだついていけない。でも、クラスは少人数制なので自発的に質問がしやすく、内容がとても濃い。しっかり勉強する。
11:45~	ランチ
12:30~15:00	LAC・EAE 午後からももちろんEAE。朝から英語漬けの授業だ。またLACではたくさんの教材が揃っていて、とても静かな環境なので集中できる。個室もある。さらに、LACには日本人の言語学習アドバイザーの先生がいるので、納得のいくまでサポートしてくれる。友達の外国人留学生在が教えてくれることもあるので、LACで色々な疑問が解決できる。
15:30~	EAE (映画を見る) リーディング、ライティング以外にもこのような授業でリスニングもしっかりと学習する。
17:00~	部屋に戻りユニットの仲間と団らん。ユニットの仲間と話をするのが楽しみ。実践的な英語力を身に付けることができるし、なによりホッとする瞬間。
18:30~	ディナー 美味しくバランスが取れていて、ここの食事はヘルシーでかなり好き。
20:00~	課題を勉強 日々出される課題。しっかりと課題を消化してコツコツと力をつけてゆく。
21:00~	音楽会の準備お手伝い 様々なイベントがあるので、その準備のお手伝いをみんなと一緒に。
22:00~	ユニットの仲間と団楽 部屋に帰り、やっぱりユニットの仲間と雑談。今日あったことや、色々なことをお茶しながらお話。
24:00~	就寝



iCLA だからこそできる 質の高い留学

iCLAでは63校の大学と提携を結び、授業料の負担をかけずに勉強に励める留学制度を用意しています。学生は2年次または3年次に希望する提携校から留学先を選び、1年間現地で英語漬けになります。（非英語圏の大学においても、英語による教育プログラムが提供されます。）今の時代、英語が“少しできる”では就職後に戦力にはならず、“留学していたのにあまりできない人”という中途半端な立ち位置を作ってしまう。実践的な英語力を身に付け、英語を仕事でも生活でも活かせる人間を育成することができるiCLAのカリキュラム。

iCLAでは留学するまでの間に、海外で安全に過ごせるよう、授業に遅れることなく単位の取得ができるよう、的確に指導して送り出します。学生は自分に合う留学先を選ぶことができます。



Student Interview



NANAKO UTSUMI
内海 菜々子
出身：日本 神奈川
留学先：ゲント大学（ベルギー）

英語力の向上はもちろんのこと、新しいコミュニティの中に自分から飛び込んでいく中で、人との繋がりを通じて考え方の違いを受け入れる柔軟性、客観的な視点が身についたと実感しています。クラスでは、ゲント大学の熱心で優秀なベルギーの学生たちや様々な国からの留学生たちとともに学ぶ中で、ディスカッションを通して得られる知識、価値観や自分には全くなかった観点などが面白く、毎日新しい発見の連続です。

彼らとの日常生活やコミュニケーションを通してより深い関係を築くことができたのは、iCLAの環境で培った英語力と国際認識がいきていると実感しています。留学の残り半分は人との繋がりを大切にしながら、より専門的なアカデミック知識の吸収、新しいコミュニティへの参加やオランダ語の習得に力をいれるなどより多くのことに挑戦し、今この瞬間しかできない経験を大切に過ごしていきたいと考えています。



Global Partners

海外留学先一覧（2021年1月現在）順不同

 ●英国・イングランド
●サセックス大学

 ●スコットランド
●スターリング大学
●アバディーン大学

 ●アイスランド
●国立アイスランド芸術大学（音楽学部）

 ●フランス
●リール政治学院
●IESEG ビジネススクール

 ●フィンランド
●タンペレ応用科学大学

 ●スウェーデン
●ルンド大学 マルメ音楽アカデミー（MAM）

 ●ノルウェー
●ベルゲン大学
●ノルウェー科学技術大学
●トロムソ大学
●ヴォルダ大学

 ●デンマーク
●オールボー大学
●南デンマーク大学

 ●オランダ
●ユニバーシティ・カレッジ・ユトレヒト
●アムステルダム高等専門学校経済経営学部

 ●ベルギー
●ゲント大学

 ●オーストリア
●FH ヨアンネウム

 ●アゼルバイジャン
●ADA（アゼルバイジャン外交学）大学

 ●リトアニア
●ヴィリニウス大学

 ●ドイツ
●デュイスブルグ・エッセン大学
●ハインリッヒ・ハイネ大学
●ヤーコプス大学ブレーメン
●ルートヴィヒスハーフェン経営社会大学、応用科学大学
●ハンブルク応用科学大学

 ●クロアチア
●リエカ大学

 ●ルーマニア
●ルーマニア・アメリカ大学
●ティミショアラ西大学

 ●スペイン
●マラガ大学

 ●イタリア
●アメリカン大学ローマ

 ●中国
●北京師範大学・香港バプティスト大学・ユナイテッド・インターナショナル・カレッジ

 ●香港
●嶺南大学

 ●台湾
●国立暨南国際大学
●国立台北大学

 ●韓国
●慶熙大学校
●カトリック大学校
●明知大学校

 ●フィリピン
●フィリピン大学
●アテネオ・デ・マニラ大学

 ●インド
●OP ジンダググローバル大学

 ●ロシア
●サンクトペテルブルク大学

 ●オーストラリア
●カーティン工科大学
●西シドニー大学

 ●マレーシア
●テイラーズ大学

 ●インドネシア
●ピナ・ヌサンタラ大学
●ムハマディア大学ジョグジャカルタ校

 ●タイ
●マヒドン大学・音楽大学
●タンマサート大学・政治学部
●モンクット王工科大学ラートクラバン校

 ●カナダ
●聖フランシスコ・ザビエル大学
●アカディア大学
●ヨーク大学
●クレスト大学

 ●アメリカ
●オグスバーク大学
●セント・スコラスティカ大学
●ハムライン大学
●フラグラーカレッジ
●ウォレン・ウィルソン大学
●南オレゴン大学
●ニューヨーク州立大学ブロッポート校
●ニューヨーク州立大学オスウィゴ校

 ●メキシコ
●パンアメリカン大学

 ●ケニア
●アメリカ国際大学アフリカ校

※掲載している旗は国旗の他、一部地方・地域の旗も含みます。 ※本提携リストは、2021年1月現在の協定提携実績に基づくもので以降変更されることがあります。

iCLA における就職支援体制

就職活動、学生にとっては一番気になるテーマです。卒業後、自分がやりたい仕事に就けるのか？
そんな学生の不安な気持ちを理解し、iCLAでは余裕をもって、しっかりしたスケジュールを組み
サポートしてゆきます。だから、いつでも相談に来てください。インターンシップも積極的に指導します。

【キャリアデザインと交換留学スケジュール】

キャリア科目（キャリアデザインⅠ～Ⅲ）を段階的に履修し、キャリアに向けた準備を進めることが可能です。



4年間を通してキャリアガイダンス、キャリアカウンセリング、その他各種就職支援講座を適宜実施しています。
夏休みや冬休み期間中にインターンシップを行うことも可能です。
派遣留学中もオンライン等での就職支援に参加可能です。
※キャリア科目の履修や派遣留学のタイミングなど、学生ごとに進路スケジュールが異なる場合があります。

【キャリア支援のプロセスと特徴】

キャリアガイダンス	毎年4月と9月の新入生受入時、留学および就活前に学生と保護者向けに実施しています。
キャリアカウンセリング	1年次のキャリアデザインⅠ（必修科目）受講生全員にキャリアデザイン担当教員とのカウンセリングを義務付け、その後は個別要望に応じて随時実施しています。
インターンシップ	1.入学1年次からの早期インターンシップ（国内・海外）情報を提供しています。世の中を知る、自分を知る、そして将来の就職活動に役立つことができます。 2.長期インターンシップを支援しています。夏（1ヶ月）か冬（3ヶ月）の長期休暇期間で海外にも挑戦できます。 3.インターンシップを授業科目として単位認定しています。 4.国際企業、国際機関、NGO等で働いた経験を持つ教職員によるアドバイスとサポートを行います。語学力を生かして自分に合った生き方や会社の選び方を具体的に学べます。
就職支援講座	毎年1月もしくは2月に実践的なスキルアップを目指した就職支援講座を開催しています。

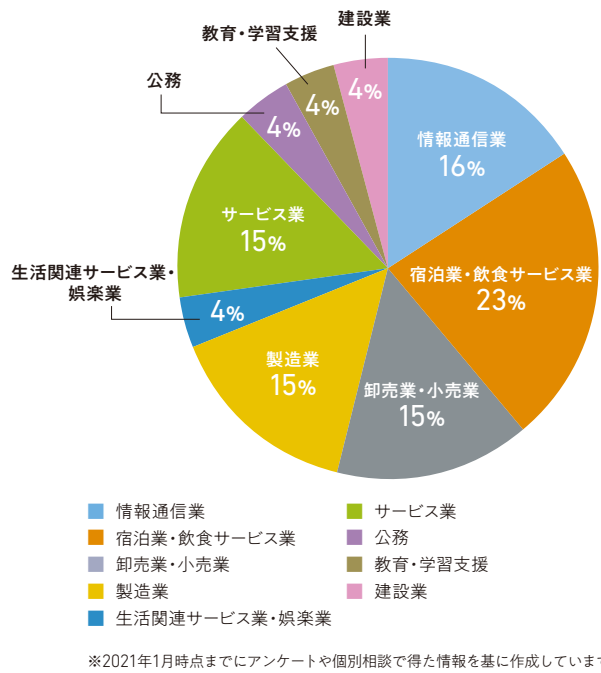


FUKUMI GENJIMA

源島 福己 教授・キャリア開発部長

ここ近年社会全体のグローバル化に伴い、コミュニケーションのあり方、仕事の内容や進み方もグローバル化・複雑化する傾向にあり、そのため学生に要求される言語運用能力や職務遂行能力のレベルはますます高度化しています。私たちは皆さんがiCLAで学び海外留学を終えて卒業するまでに、こうした現実を明確に認識し、変化に対応できる能力を身に付けさせることを目標に、三段階でキャリアの授業を進める他、国内・国外におけるインターンシップ等を通して幅広い知識とスキルを身に付けさせることにも注力しています。私たちキャリア支援関係の教職員は国内外の様々な地域や組織でも働いた豊富な経験を持っており、それを活かしながら全学の就職・キャリアセンターとも連携して学生の皆さんの職業観の形成や就職活動を支援しています。iCLAで私たちと一緒に、になりたい自分、働きたい仕事を探してみませんか。

就職実績



卒業後進路実績

就職先

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| ■Earth Technology(株) | ■空港ターミナルサービス(株) |
| ■学校法人 山梨学院 | ■sankara hotel&spa屋久島 |
| ■(株)エコパートナーズ | ■自衛隊 |
| ■(株)ゲオホールディングス | ■駐日フィンランド大使館 |
| ■(株)CONY JAPAN | ■トムソン・ロイター(株) |
| ■(株)コメダホールディングス | ■TOYOTA TSUSHO INDIA |
| ■(株)大創産業 | ■マンダリンオリエンタル東京(株) |
| ■(株)トラスト・ネクストソリューションズ | ■三菱ふそうトラック・バス(株) |
| ■(株)富士急ハイランド | ■矢崎総業(株) |
| ■(株)朋米 | ■UTコンストラクション(株) |
| ■(株)丸井グループ | ■若草の宿 丸米 |
| ■(株)森ビルホスピタリティコーポレーション | |

進学先

- | | |
|-------------------|---------------------|
| ■関西学院大学大学院(日本) | ■シェフィールド大学大学院(イギリス) |
| ■国際基督教大学大学院(日本) | ■リーズ大学大学院(イギリス) |
| ■国際教養大学専門職大学院(日本) | |

Student Interview



SHUNYA SAIKI

齊木 俊也 出身：東京

卒業生・グローバルIT サービス業

自由な学びを通して自分を深く理解し、納得のキャリアを描けた
大学へ入学する前は、将来どのようなキャリアへ進みたいのか分かりませんでしたが、多様な分野を学習することができるiCLAのリベラルアーツ教育を通して、進みたいキャリアを発見できるのではないかと感じていました。一定の分野に縛られることのない自由な学び方によって、自分の性格と興味にはどのような学問の分野が合うのかということが分かりました。自分自身のことをより深く理解することができ、IT業界へ進みたいというキャリアの目標を持つことができました。就職支援の先生には、進路を決めるにあたりご指導（ご助言）をいただき、日本の仕事文化についても教えていただきました。仕事の募集情報を共有して下さったり、相談したい時には常に時間を作ってくださり、結果として希望していたIT業界から内定をいただくことができました。

Student Interview



DAISUKE OO

王 大亮 出身：山梨

卒業生・グローバル製造業

4年間で自分の夢をかなえる実力を身に付けた

父親は中国人ですが、多国の留学生と学ぶiCLAの環境で自分の思考は日本人だと自覚させられ、多様な価値観を許容する幅が身に付きました。またアメリカ留学時のサッカークラブでは仲間意識の違いに驚きつつも共感しました。仲間を支え補い合う日本人に対し、アメリカ人は個人責任で、練習量より質を求めるのです。留学に必要なTOEFLを1年間で380点から540点に上げ、TOEIC865点の英語力を自信に、夢だった海外展開・社会貢献する企業に入ることができました。今は人生のテーマである「スポーツマーケティング」の可能性に挑戦中です。



ミニ国連のような環境で、国際社会が求める能力を磨く

未知の世界にあえて挑戦し、
世界で通用する人になるために
国際色豊かなiCLAへ“留学”しませんか？

iCLAでは、将来グローバルな活動のできる、
やる気のある学生を募集しています。

詳しくは学部ウェブサイトと入試ホームページにアクセスしてみてください！

iCLAホームページ
www.icla.ygu.ac.jp/jp

入学者選抜情報
www.ygu.ac.jp/admission



みなさんをお待ちしております！



海外から高く評価されている事実、iCLAは国際標準の大学です。

本学部iCLAは2015年の開設と、まだ歴史が浅いにも関わらず、数カ月時点で海外での評価がとても高く、初年度から海外留学生を受け入れることができました。そして、現在もiCLAを選ぶ留学生はどんどん増え続けています。このこと自体、我々が思い描いてきたiCLAという学部の価値が、世界で認められているのだと実感し、そのことが日本人学生への刺激に繋がるものと考えています。また、入学した学生たちの声を拾うと、みな口を揃えて「楽しい」「来てよかった」と言います。さらに、教員の質が高く授業が面白い、という意見も見逃せません。少人数制の授業は、与えられたものを吸収するだけではなく、インタラクティブな学生たちが作っていくものもあります。リベラルアーツという、iCLAの目指す理念に、日々追うごとに自信を深めています。国際寮とキャンパスが一体になった大学設置はとても珍しく、学生は起床から就寝まで外国人教員や留学生に囲まれての生活を送ります。日本に居ながら留学しているかのような時間を通して、学生は日々成長しています。是非、iCLAの施設を見に来てください。

古屋 光司 KOJI FURUYA

山梨学院大学 学長

Profile
2018年 山梨学院大学 学長
2015年 山梨学院大学 副学長
2013年 学校法人山梨学院 理事長補佐
2011年 山梨学院大学 学長補佐
2007年 山梨学院大学 法学部 専任講師
2004年 弁護士登録
2001年 東京大学法学部 卒業

多様性に富んだ環境で自分をみつけましょう。

山梨学院大学国際リベラルアーツの教職員を代表し、本学部への入学を考えている生徒の皆さんを心より歓迎いたします。iCLAは多岐にわたる要素を持ち合わせたユニークな学部で、「与えられたものをただ受け取るだけ」であってはならないという価値観のもと、リベラルアーツ教育に特徴づけられるクリティカルシンキング、コミュニケーション、そして、クリエイティブに問題を解決する力を培うことができます。ここには多種多様な生い立ちを持つ学生や教員が集い、お互いに交流を深めることになります。そこでiCLAにおける多様性が重要になります。異なる考え方や反対意見などに触れることにより、学生の成長や新しい文化への適応を促し、自身の物事に対する視点に磨きをかけ、自身の信念をよりよく理解することにつながるのです。

iCLAは「自身のメジャーをデザインする」という考えに基づいているため、学生は様々な学術分野から幅広い科目を履修することができます。従来の経済学および政治学は、それぞれビジネスおよび社会学の科目を組み込むことによって学生が選択するメジャーとしてより充実したものになっています。また芸術、音楽、文学、芸能の科目は日本研究および人文教養のメジャーの中に含まれ、各科目を同等に学ぶことができます。また、今後数年をかけて、リベラルアーツとデジタルサイエンスという異なる2つの手法を統合してゆきます。テクノロジーにより複雑化した世界に生きている今日の学生にとってデジタルサイエンスを理解することは、グローバルなデジタル社会を理解するために非常に重要であるだけでなく、政治、経済、社会、教育などの分野に関わらず将来の意思決定にも好影響となります。この知識は、キャリアを成功させる上で非常に重要な役割を果たすでしょう。

多くの学生は入学時に自分がやりたいことがはっきりしていません。しかし、入学後すぐメジャー（専攻）を選択する必要がないところが、ここでのユニークな利点です。各学生には教員アドバイザーがつき履修科目の個別指導を行うので、学生は徐々に自分の興味や関心を発見することができます。ここでは、迷子になることはありません。自分自身を見つけることができるのです。

サンジェイ・ジンガン SANJAY JHINGAN

iCLA (国際リベラルアーツ学部) 学部長 (インド、ニューデリー出身)
[専門分野] 相対論的重力崩壊、重力波、天体物理学&宇宙論
主な担当科目: リベラルアーツの為の数学、地球科学

Profile
2019年 山梨学院大学 国際リベラルアーツ学部 学部長・教授
2016年 山梨学院大学 国際リベラルアーツ学部 リベラルアーツ部門ディレクター・教授
2015年 インド大統領による最高研究グループに対し客員研究賞受賞 LIGO (レーザー干渉計重力波観測所) インド科学連絡メンバー 天文学・天体物理学大学間連携センター 教授 (ビュン、インド)
2012年 JMI 理論物理学センター 教授 (ニューデリー、インド)
立教大学理学部物理学 理論物理学研究室 客員教授
2009年 JMI 理論物理学センター 准教授 (ニューデリー、インド)
JMI 理論物理学センター 助教授 (ニューデリー、インド)
JMI 理論物理学センター 講師 (ニューデリー、インド)
2005年 京都大学大学院理学研究科 (物理学・宇宙物理学専攻) 日本学術振興会上級研究員
2002年 バス科大学 理論物理学部 博士研究員 (スペイン)
2001年 京都大学基礎物理学研究所COE研究員
2000年 京都大学基礎物理学研究所博士研究員
1998年 ミラノポリテックニク大学博士研究員
1998年 タタ基礎研究大学 (インド) 博士号 (物理学) 取得 相対論的重力崩壊
1993年 デリー大学 (インド) 物理・天体物理学部 物理学修士号 取得
1991年 デリー大学・ヒンズー学部 物理学学士号 (優等) 卒業